

アートでSDGs

日比谷の森で考える プラスチックと地球環境 ～いま、できることから～

レジ袋有料化から1年が経ち、6月4日のプラスチック循環促進法の成立やカップ麺の蓋どめシール廃止も話題になりました。しかし、不燃折マスクやパーテーションなど、プラスチックの需要も重要性も増すばかりです。ごみとなったプラスチックは、最後は海へと流出し、2050年の海は魚よりプラスチックごみの量が上回る予測もあり、海洋プラスチックごみ問題は簡単にかたづきません。

2021-2030年は《国連海洋科学の10年》、7月22日は《海の日》です。日比谷図書文化館3階図書フロアでは、普及啓発に取り組む図書展示「アートでSDGs 日比谷の森で考える プラスチックと地球環境 ～いま、できることから～」を行っています。



地域の障がいをもつ方たちや子どもたちがプラスチックごみからつくった《プラスチックアート》を見ながら、図書館の本・雑誌、パネルも交え、サステナブルな地球のために「いま、できること」をみつけ、行動してもらうための展示です。

本展のみどころ

◆プラスチックアート「陸・海・空」

千代田区の障害者福祉センターえみふるの利用者と西神田児童センターの子どもたちが、プラスチックごみを工夫してつくりました。テーマは《循環》。太陽が海に降り注ぎ、水蒸気は雲となり、雨となって川に流れ、また海に続く。人の助け合いも、限られた環境資源も美しく循環するようにとのメッセージが込められています。



◆エコロジーアートやポコラート

アートの素材も担い手も表現も実に多様になってきました。廃材でつくるエコロジーアートや多様な作り手によるアートを紹介した本と共に千代田区とアーツ千代田 3331 が取り組むポコラートについてもご紹介します。



◆雑誌で読む【SDGs】【海洋プラスチックごみ問題】

専門誌を中心に約500タイトルを揃えた当館所蔵の雑誌から、SDGsや海洋プラスチックごみ問題に関する取り組み事例や研究報告などを掲載する雑誌約60点をご紹介します。（館内閲覧のみ、コピー可）

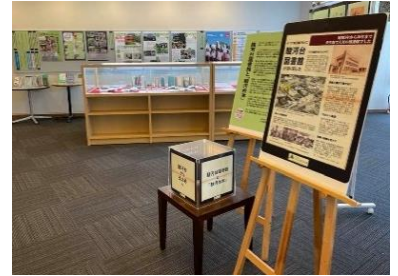
◆レイチェル・カーソンと福岡伸一

レイチェル・カーソンといえば、歴史を変えた『沈黙の春』の著者、環境活動のバイオニアとして知られますが、実は《海の三部作》を書いた海洋生物学者。カーソンの横顔を、カーソンのセンス・オブ・ワンダーに魅せられた生物学者・福岡伸一と合わせてご紹介します。



◆駿河台から日比谷へ

今回の目玉であるプラスチックアート作品は4月に ECOM 駿河台（神田駿河台3丁目）で展示され、《駿河台から日比谷へ》受け継いでの開催です。《駿河台から日比谷へ》は、今回のもうひとつのテーマ。次にご紹介する「駿河台本」も《駿河台から日比谷へ》受け継がれました。さらに時代を遡ること家康の時代に、「神田山」と呼ばれる丘陵（現在の駿河台）を切り崩して、日比谷入江が埋め立てられていることについてもご紹介します。



◆駿河台図書館と「駿河台本」

プラスチックアート作品が4月に駿河台で展示されたことにちなみ、駿河台図書館と「駿河台本」についても紹介します。実は、ECOM 駿河台に隣接した地に、昭和5年から30年まで「駿河台図書館」がありました。駿河台図書館は戦前・戦後の公共図書館の創生期に、日比谷・深川・京橋図書館とともに東京市立図書館の中心的な役割を担う図書館でした。神田駿河台は戦災を免れ、その蔵書「駿河台本」は現在、当館のコレクションとして大切に保管されています。その中から今回は、東京府が昭和14年に開催したリサイクル啓発の展覧会記録集『廃品回収展覧会』（1939）や、レイチェル・カーソン初の日本語訳『海 その科学とロマンス』（1952）などを紹介します。



◆日比谷の森に集まった仲間の取り組み

深海の魅力や地球環境を楽しく学び普及啓発するNPOや、アジアで植林・農業支援や読書支援に取り組むNPO、企業による地域の環境活動など、仲間たちの地球を守る活動もご紹介します。

開催概要

展示：「アートでSDGs 日比谷の森で考えるプラスチックと地球環境～いま、できることから～」

期間： 開催中～8月31日（火）*休館日：7月19日（月）、8月16日（月）

会場： 日比谷図書文化館 3階エレベーターホール *入場無料

主催： 千代田区立日比谷図書文化館 共催： 千代田区立障害者福祉センターえみふる

協力： 特定非営利活動法人 地球の友と歩む会、三井住友海上火災保険(株)、千代田区立西神田児童センター
NPO法人 チームくじら号、アーツ千代田 3331

展示ホームページ： <https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/information/20210601-ecom/>

〈 お問い合わせ先 〉

千代田区立日比谷図書文化館 広報担当：並木 namiki-yuri@shopro.co.jp、岡本 okamoto-yoriko@shopro.co.jp

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-4 TEL:03-3502-3340/ FAX:03-3502-3341

ホームページ：<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>